

第4章 基本的な考え方

第1節 基本理念

成田市における生涯学習の将来像の実現をめざし、次の基本理念に基づいて、本計画を推進します。

ゆたかな自然と歴史のもと“国際市民”を育むまち

国際化や情報化が進む21世紀は、「こころ」と「こころ」を結ぶコミュニケーションづくりを充実させ、「人のつながり」を大切にした市民生活が重要となります。

本計画においては、世界の人々に対して誇れるような個性と広い視野を備え、成田を大切に、互いに助け合い共に学びながら、社会情勢の変化に対応し、自立して生きていける「国際市民」を育むことを目指します。

私たちが「国際市民」となる上で重要なことは、本市の持つ自然や歴史の中で育まれた地域環境のもとで一人の市民として、何を学び、何をしたいのか、何ができるのかを考え、豊かなコミュニティづくりを進めるために生涯学習を実践していくことです。

こうした過程を経て、私たちは真の「国際市民」となっていくものと考えます。

このように、成田の豊かな自然と歴史のもと、市民一人ひとりの生涯にわたる学習を支え、「国際市民」を育むことを本計画の基本理念とし、「市民が学習成果を活かせるまちづくり」を導いていくものとします。

第2節 基本方針

基本理念の実現を目指し、次のように3つの基本方針を定めます。

だれもが主役 ～市民が主体的に学べるまちづくり～

生涯学習を行うために特別な資格は必要なく、市民「だれもが」気軽に取り組むことができることが基本となります。そのため対象分野は広く、さまざまなニーズに対してきめ細かい対応や支援を行うことが必要となります。

子どもから高齢者まで、幅広い年齢層の市民「だれもが」自ら主体的に学ぶことができるまちづくりを目指します。

いろいろな学習 ～市民が相互に学びあえるまちづくり～

生涯学習は、文化芸術、スポーツから、コミュニティ活動など幅広いものであり、その目的も趣味、娯楽の充実から社会貢献に至るまで多様です。

市民一人ひとりが「いろいろな」学習機会にふれることができるよう、各種講座・研修・交流などを充実させ、市民が自らを高め、市民同士が相互に学びあえるまちづくりを目指します。

みんなで協働 ～市民が学んだことを活かせるまちづくり～

学んだ成果を活かそうとするとき、そこには人と人との交流、地域や社会との関わりが生まれ、新たな学習の輪が広がります。さらに、その学習の輪が、地域課題の解決や社会貢献活動という主体的な行動へと発展し、より充実した地域社会が実現します。

生涯学習を推進していくうえでは、市民と行政との連携・協働が必要であり、そのために「みんなで」学習活動を盛り上げ、市民が学んだことを活かせるまちづくりを目指します。